

(5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回からの主要変更点

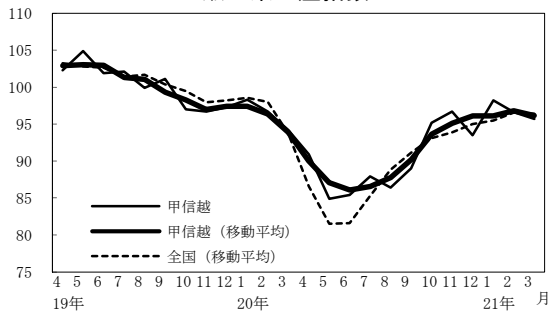
	前回 (令和3年3月)	今回 (令和3年6月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	↓
個人消費	このところ弱含んでいる	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

1－3月期の鉱工業生産は、「汎・生産・業務用機械」が増加したこと、「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」が増加したこと等により、前期比1.8%増となった。

鉱工業生産指数



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。甲信越の最新月は速報値。
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10-12 月期	1-3 月期	1月	2月	3月
電子・電気・情報通信	28.9	10.9	▲0.7	8.0	▲5.4	▲3.5
汎・生産・業務用機械	24.8	14.8	5.7	6.7	4.8	▲6.4
食料品・たばこ	12.0	0.1	—	▲1.2	▲3.3	—
石油・石炭、化学、プラスチック	10.3	1.6	2.3	3.4	▲4.4	9.0
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	7.2	5.0	6.1	0.1	0.5
鉱工業	100.0	8.4	1.8	5.0	▲1.6	▲0.9

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 1－3月期、3月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。
 3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

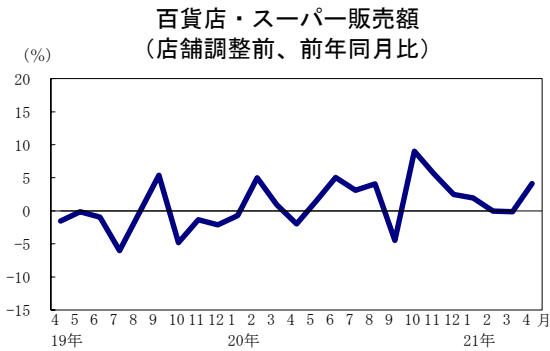
個人消費はこのところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1-3月期は前期比 0.0%増となった。月別にみると、1月は前月比 1.5%減、2月は同 3.1%増、3月は同 0.2%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比 5.4%増、1-3月期は同 0.6%増となり、増加幅が縮小した。月別にみると、1月は前年同月比 1.9%増、2月は同 0.0%減、3月は同 0.1%減となった。



	2021年1-3月	2021年1月	2月	3月	4月
RDEI (消費*1)	0.0	▲1.5	3.1	0.2	—
百貨店・スーパー(*2)	0.6	1.9	▲0.0	▲0.1	4.1
乗用車(*3)	2.1	4.4	▲3.9	4.8	23.2
(季節調整値)(*3)	▲6.5	▲2.1	▲9.4	5.5	8.7

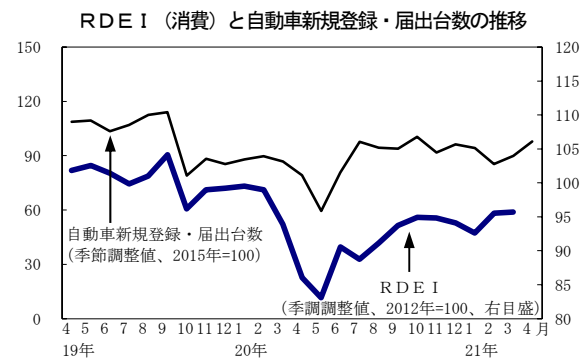
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

2021年4月は速報値。

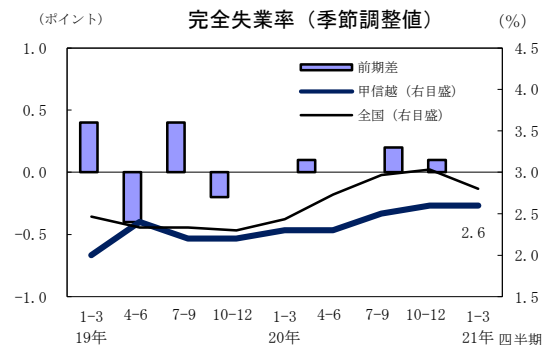
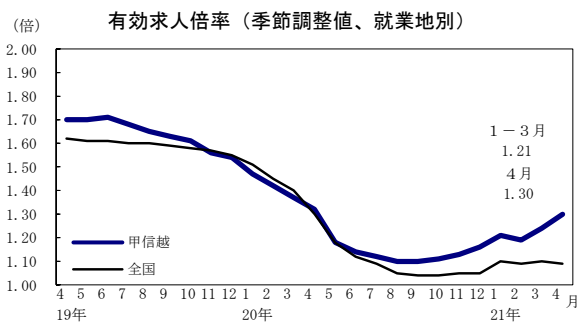
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年4月調査) 景気判断理由の概要

5. 甲信越

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連		・低調気味なものの、新規の来客も見受けられる。行動範囲が自粛要請で規制され、これまで遠出していた客が来ているのかもしれない(一般レストラン)
		×	・中古別荘販売に動きが見られるようになってきている(住宅販売会社)
	企業 動向 関連		・人口10万人当たりの新型コロナウイルス感染者数でも低位にある当地だが、他地域の緊急事態宣言の様子は報道などで入ってくるため、気分的に外出自粛となり、商店街への客足は途絶えている(商店街)
		×	・新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う緊急事態宣言等で、非常に落ち込んでいる。人の動きが少なく、特に、夜の利用はほとんどない(都市型ホテル)
	雇用 関連		・地域の新型コロナウイルス感染警戒レベルの影響で、ワークショップの予約等は制限せざるを得ない状態である(窯業・土石製品製造業)
×		・インターネットによる販売はあるものの、近隣の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出による影響で、工場見学者はほとんど来ない。また、飲食店、宿泊施設からの注文も激減している(食料品製造業)	
その他の特徴 コメント			・製造業は半導体需要の増加に伴い景況感が改善した一方、非製造業は新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い悪化し、2極化が拡大している(金融業)
			・求人は増えてきているものの、正社員採用については慎重な姿勢が続いている(民間職業紹介機関)
			・採用条件等は更に厳しい状況の上、可否判定に時間が掛かりチャンスロスが発生している。そのため、就職活動がうまくいかず、収入がないので消費に回るわけがない。貧富の差が一層拡大している(人材派遣会社)
			：旅行に行けない、イベントはない、帰省できないと、移動が制限されるなか、密を避けられるゴルフ場には、追い風となっている(ゴルフ場)
			：少しずつではあるが、受注量は回復している(建設業)
先行き	家計 動向 関連		・新型コロナウイルスのワクチン接種や感染状況が改善し、行動制限がなくなれば、自然と客の動きが出てくると思われる。ただし、現状の受注状況を見ると非常に少ないので変わらない(旅行代理店)
		×	・緊急事態宣言が発出中で、当県でもこれに近い宣言が発出され、人出が少なくなることが予想される(コンビニ)
	企業 動向 関連		・受注、生産量共に、上向き要因がない(電気機械器具製造業)
		×	・毎月の資金繰りが大変である(出版・印刷・同関連産業)
	雇用 関連		・業種を問わず求人掲載企業が増えているものの、業種によって応募者が偏っている(求人情報誌製作会社)
その他の特徴 コメント			：半導体業界は好調である(金属製品製造業)
			：これから夏に向かって、エアコン、冷蔵庫等の動きに期待できる(一般小売店[家電])

(D I) 現状・先行き判断D I (甲信越)の推移(季節調整値)

